

三重県議会議員 **小林正人**
県政リポート

facebook

皆様からの「いいね!」を
お待ちしております<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>三重県議会議員 **小林 正人****ご挨拶**

初冬の候 皆様に於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年も残すところ後数日となりました。この1年も皆様方から県政リポートを通して、あるいは県政報告や座談会の場でいろいろなご意見や、ご指導いただきましたこと改めて感謝申し上げます。今号では、**9月の予算決算常任委員会において、28年度決算に対する総括質疑をさせていただいた内容、副委員長として障害者差別解消条例策定に向けて取組んでいる特別委員会の経過報告、自民党会派 政策委員長として取り扱った請願結果(9月・11月分)、地元諸問題において特に注力させていただいていること等**を中心に報告させていただきたいと思ひます。

時節柄、寒い日が続きますが、お身体には充分ご留意ください。

H29年(28年度決算に関する) 予算総括質疑**1 子育て支援と家庭、幼児教育の充実について** 答弁者: **知事**

この問題はこれまでいろいろな場で知事が言う話の中で、私が一番共感する内容が施策の目指す姿のトップに記述されております。それは**障がいの有無や生まれ育った環境に関わらず、全ての子供が健やかに、夢と希望をもって育つことのできる環境をつくる**ということでもあります。

が成果レポートによると残念ながら評価結果としては進展度Cでありました。いろいろな基本事業の中で勿論達成しているものもありますが、それ以外で知事が今後この結果を踏まえて特に注力していかなければならないと思うこと、お考えをお聞きしたいと思います。

**2 予算の繰り越しについて**答弁者: **農林水産部長**

平成28年度一般会計分で、29年度への繰越し額は約328億2320万円でありました。内訳を見ますと土木費で約159億円、農林水産業費で約112億円、総務費で約10億円、民生費で約11億円、教育費で約13億円、災害復旧費で約14億円、他となっております。

また、このほとんどが前年度に比べて増加をしております。予算編成は年度内に事業が完了することを基本に計画されるものと考えます。国補正予算等の対応や災害等どうしようもない場合に事業の執行が遅れることにより繰越しになるものはわかりますが、それ以外はもう少し効率的な執行ができなかったのか、特に前年度と比べると約46億円も増加している農林水産業費においてその要因を詳しくお聞きしたいと思います。

4 県有財産の管理等について答弁者: **総務部長** **県土整備部長** **農林水産部長**

とりわけ未利用地の有効活用についてですが、28年度は第二次みえ県有財産利活用方針(28年度から31年度)にもとづき年度目標の1億2000万円に対して約3億4700万円(約2万8000㎡)の売却実績があったときであります。

しかしながら、28年度末現在では、財産の精査等により前年度に比べて約4万1000㎡増加の約15万3800㎡になっております。このように増加する未利用地に対して、今後の方針の中で年度目標額を据え置いたままの状態で行くのか。売却以外にも例えば借地として活用する あるいは譲渡ということもあるのか。また、少し視点を変えて未登記の公共用地(県土、農林)についてもかなりの面積があり、その多くは道路やのり面、用地買収後の残地かと思われるが、これらの処理、活用(売却、無償提供、譲渡等)今後どのように考えておられるのか、それぞれお聞きしたいと思います。

3 予算の不要について答弁者: **総務部長**

平成28年度不用額は、27年度と比べて約27億円減少はしたもののそれでも一般会計分で約48億円あります。それぞれの内訳を見ますと人件費が約8億1千万円で、それ以外も義務的費用の部分が多くみられますが、それでも政策的経費不用額もあり、これらにおいてはやはり年度当初の見積もりや積算の仕方が甘かったのでは、またその為に本来やるべき事業が年度当初に組めなくなり、県民サービスの低下につながったこともあるのではと考えますが、ご所見をお聞きいたします。

5 工事、物件等における入札中止状況について

28年度に電子調達システムにより入札公告をおこなった案件、(工事、物件)等で事務処理誤りによる入札中止は121件であり、発注件数の違いはありますが、各部局別では多い順に教育委員会事務局が42件、次いで農林水産部の23件、健康福祉部の15件、県土整備部の14件他となっており、事務処理誤りの主な要因は仕様書、広告書類の誤りが全体の70%、積算誤りが17%、システム操作入力誤りが11%であります。数的には減少傾向にありますが、26年度から重点的に監査を実施しているにも関わらずこの数字、また仕様書誤り、積算誤り、システムの誤操作という専門的な知識がいるところのミスは特に問題があるのではと思います。できるかぎりこのようなことを未然に防止できるよう、職員の専門分野での質の向上等、今後どのように考えていくのか。特に件数の多かった教育委員会事務局、農林水産部、県土整備部それぞれにお聞きしたいと思います。

答弁者: **教育長** **県土整備部長** **農林水産部長****平成29年定例会9月・11月定例会議 請願一覧**

(提出年月日 H29.9.15)

平成29年定例会9月定例会議 請願一覧	付託委員会	委員会審査	本会議結果
請35 介護人材の安定的な確保等に向けた支援を求めることについて	健康福祉病院	採択 H29.10.4	採択 H29.10.17
請36 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めることについて	教育警察	採択 H29.10.10	採択 H29.10.17
請37 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて	教育警察	採択 H29.10.10	採択 H29.10.17
請38 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて	教育警察	採択 H29.10.10	採択 H29.10.17
請39 防災対策の充実を求めることについて	教育警察	採択 H29.10.10	採択 H29.10.17
請40 小学校1年生から段階的に25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めることについて	教育警察	不採択 H29.10.10	不採択 H29.10.17



紙面の都合上、知事・各部長 回答は三重県ホームページ議会中継録画からご覧ください。

QRコードからも
アクセス可能

三重県議会中継

検索

(提出年月日 H29.11.22) ※12月4日現在

平成29年定例会11月定例会議 請願一覧	付託委員会	委員会審査	本会議結果
請41 私学助成について	環境生活 農林水産	審議中	—
請42 国民健康保険の三重県単位化後も世帯の家計状況に十分配慮した保険料とすることを求めることについて	健康福祉病院	取下げ	—
請43 診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求めることについて	健康福祉病院	審議中	—
請44 介護報酬を引き上げ、介護サービス提供体制の充実と介護労働者の処遇改善を求めることについて	健康福祉病院	審議中	—

裏面も是非お読みください。



障がい者差別解消条例策定調査特別委員会の開催状況 及び 今後の予定について

第1回 5.18 ・正副委員長の互選

第2回 5.31 ・年間活動計画の協議 (条例提出時期を含む) ※ 条例案の提出目標時期:H30.6 (6月定例会議)

第3回 6.28 ・障がい者施策の現状等に関する執行部からの説明聴取 ○ 健康福祉部 ○ 教育委員会 ○ 雇用経済部

第4回 7.13 ・法令の調査 障がい者差別の解消に関連する条約及び法律の調査・研究

第5回 7.28 ・条例の調査 障がい者差別の解消に関する他の都道府県の条例及び取組状況等について

8.21~8.22 ・県外調査

○ 千葉県 ○ 埼玉県
○ JDF(日本障害フォーラム)では、障がい者差別解消条例の策定に関する考え方などについて意見交換を実施



JDF(日本障害フォーラム)にて意見交換



千葉県庁にて先行条例の聞き取り調査



埼玉県庁にて先行条例の聞き取り調査

第6回 9.15 ・招致する参考人(有識者)の決定

第7回 9.21 ・参考人からの意見聴取 ○ 植木淳名城大学法学部教授 ※ アメリカでの事例を交えつつ、合理的配慮の提供が差別の禁止と密接に関わるものであることや、行政救済手続の整備の重要性などの助言をいただきました。

第8回 10.12 ・参考人からの意見聴取(関係団体) ○ 社会福祉法人三重県視覚障害者協会 ○ 三重県自閉症協会 ○ 特定非営利活動法人三重難病連 ○ 一般社団法人三重県知的障害者育成会 ※ 関係者からは、障がい者やその家族などが直面している差別の実態や、障がい者差別の解消と共生社会の実現に向けて課題を聴き取り、障がい者を取り巻く現状についての認識を深めました。

第9回 10.17 ・参考人からの意見聴取(関係団体) ○ 特定非営利活動法人三重県精神保健福祉会 ○ 公益社団法人三重県障害者団体連合会 ※ 同上

10.26~11.6 ・県内少人数調査(県内の事業所等)

※ 県内の事業者等を対象に、合理的配慮の提供に関する取組の状況やこれに伴う課題等の調査を実施

第10回 11.15 ・県内少人数調査の報告 ・障がい者を取り巻く現状等に関する各委員会意見 ・条例の必要性及び方向性等の検討 ※ 条例の必要性及び方向性について議論を行い、障がい者差別の解消と共生社会の実現に向けた施策を定める条例の検討を行っていくことを確認

第11回 11.28 ・条例案骨格について

第12回 12.18 ・条例案の骨格に関する討議

平成30年度 今後の予定

1月~3月 ・条例案検討、当局・関係者意見聴取 ※ パブリックコメントに向け、3月末を目途に、委員会としての案を固める

4月~5月 ・条例案に関するパブリックコメントの実施

5月 ・パブリックコメントによる意見を踏まえた条例案の検討

6月 ・条例案取りまとめ・提出 ※ 提出前に全員協議会で説明

地元で特に注力して取組んでいる問題 (抜粋)

① 海岸堤防改修整備促進

自民党市議団と連携のもと地元国会議員、関係省庁に要望

② 県道神戸長沢線、磯山バイパス、国府バイパス整備促進

地域の役員の方は勿論、地域選出自民党市議、国会議員と共に県土整備部長、鈴鹿建設事務所等に要望

③ 中の川、堀切川、芥川、棕川等県管理河川の改修整備促進

体積土砂撤去等含 地域関係役員の方、地元市議と県関係部所へ要望

④ 定五郎橋右折レーン設置

過去三回、一般質問を通じて知事、県執行部に要望
少額ではあるが予算化され現在進行形

⑤ 白子地区、千代崎若松地区、防風林

腐敗した松の木等撤去、白子地区で10数本
千代崎地区で5本伐採、予算確保次第継続



⑥ 横断歩道、ゼブラゾーン等ラインの塗装

主にご要望いただいた神戸地区、若松地区、白子地区、玉垣地区、稲生地区、国府地区、中央道路、にて今年度実施、引き続き予算確保と優先順位向上に向け関係機関に要望

⑦ 障がい者施設、障がい者雇用促進企業に対する県優先発注の拡大

毎年県発注目標金額の増、今年度は約1億1千万円。
県内で鈴鹿市が障がい者雇用率1位となる。



⑧ 介護士処遇加算の要件

キャリアパス要件の追加等を各事業所が満たせるよう県からの啓発
この29年4月から加算1がこれまでの2万7千円から3万7千円に

⑨ 国府地区平田野中学校スクールゾーンの確保整備並びに規制

県道赤坂台交差点からの歩道の確保、通学道路の通行時間規制

⑩ 木田橋及び県道8号線ガードレール及びゼブラゾーン設置

地域代表の方々、地元市議会議員と共に、建設事務所及び関連機関に要望中

⑪ 北海道伯集会所建て替えに関する問題

地元関係者、地元自民党市議と共に
県ないし補助金出資団体に要望中



⑫ 千代崎交差点改修事業

塩浜街道千代崎交差点において信号機移設、横断歩道設置について県警本部に要望中

活動報告



稲生地区虫おくり行事に参加



地元保育園にてボランティアの綿菓子づくり



桜島小学校 盆踊り大会にて



新極真空手の大会実行委員長として



合川地区 敬老会にてご挨拶



農福連携の取組み調査



MOA美術館鈴鹿児童作品展 表彰式で実行委員長としてご挨拶



南海トラフ地震に関する調査 参観院会館にて



鈴鹿サイクリング大会 大会顧問として参加